

## 議事録（概要版）

会議名	2021年度（令和3年度）第2回福山市男女共同参画審議会
議題	協議事項：(1) 福山市男女共同参画基本計画（第5次）策定に係る市民意識調査・事業所アンケート結果等について (2) 福山市男女共同参画基本計画（第5次）骨子案について
日時 場所	2022年（令和4年）3月17日（木）15：30～16：55 エフピコアリーナふくやま 多目的室
出席者 欠席者 事務局	荒玉委員，正保委員（会長），市瀬委員，馬場委員，岡本委員（副会長），清柳委員，江木委員，平賀委員，佐藤委員，小葉竹委員，石井委員，辻川委員，陶委員，平木委員 大庭委員 スポーツ・青少年女性担当部長，青少年・女性活躍推進課長，青少年・女性活躍推進課長補佐兼男女共同参画担当次長 ほか
傍聴	3名

### 2 協議事項

- (1) 福山市男女共同参画基本計画（第5次）策定に係る市民意識調査・事業所アンケート結果等について
- (2) 福山市男女共同参画基本計画（第5次）骨子案について  
→ 事務局が説明し，続いて質疑応答を行った。

- (1) 福山市男女共同参画基本計画（第5次）策定に係る市民意識調査・事業所アンケート結果等について

質疑	応答
① 調査結果から、「暴力はいけない」といった意識は少しずつ高くなってきていることが見受けられるが，何が暴力か分かっていない状況が考えられる。幼少期からの学習が必要だと考えるが，学校教育の場でのDVに関する学習の状況は。	① 市内小学校には、「男女共同参画」の意識を育むための教材「みんななかま」を作成し配布しており，昨年度は9割以上の学校で活用されている。市内高等学校・大学には，「デートDV予防啓発講座」をカリキュラムに組み込んでいただくよう依頼し，実施をしている。
② 資料2（1）について，「高年齢層へのアプローチと若年層へのアプローチは異なる手法が必要」とあるが，現時点のどのようなことを考えているのか。	② 世代によって男女共同参画意識の差があることから，高齢者・若年層に応じた，より分かりやすい内容でのアプローチの仕方・内容の検討していきたい。
③ 資料2（5）について，「女性が出産後も同じ職場で働き続けるために必要なこと」として，「子どもを預けられる環境の整備」が高い回答率となっているが，福山市のそういった取組の成果について，どのように受け止めているか。	③ 本市においては，「放課後児童クラブ」の全学年受け入れの整備を完了させた他，保育所等については，ここ数年待機児童が発生したような環境にはなっていない。また，切れ目のない子育て支援サービスや「ことばの相談室」など，全国的にも先駆けた取組を行ってきた。しかし，現在働かれている人にとって，「何が足りていないか」については把握できていない。今後その点については掘り下げていく必要があると感じている。
④ 市の職員へ，この意識調査を行った場合，どのような結果が想定されるか。	④ 市の男性職員の育児休業の取得率については，2020年度 24.8%となっている。そういった部分については，市職員の育児の参画の意識は一定程度持っていることが伺える。

質疑	応答
⑤ 「(仮称)子ども未来館」の構想について、「男女共同参画」の意識を入れていくことは可能か。	⑤ 「(仮称)子ども未来館」の施設像は、「次代を担う子どもたちが最新の科学やテクノロジーに触れ、楽しく学び、そして成長していく場」として、現在、構想を検討しているところである。そこへどのように「男女共同参画」・「ジェンダーフリー」の感覚を取り入れていくかについては、可否も併せて検討していきたい。

(2) 福山市男女共同参画基本計画（第5次）骨子案について

質疑	応答
① 基本目標4「男女共同参画を阻害する暴力の根絶」について、施策の方向として「相談窓口の周知と相談体制の充実」とあるが、現在の相談体制の状況はどうなっているか。	① 男女共同参画センターにおいて、平日は10時～17時まで、土曜日・日曜日は午後13時～17時で相談を受けており、祝日と年末年始を除いた、毎日、相談を受けられる状況にある。利用状況については、比較的、予約が取りやすい状況にある。
② 基本目標4「男女共同参画を阻害する暴力の根絶」について、施策の方向として「被害者の安全確保と自立支援」とあるが、今後、福山市独自のシェルター等支援施設の設置や、「被害者プログラム」と「加害者プログラム」の実施についての考えは。	② 一時保護が必要な場合は、広島県と連携しながら、広島県が指定する施設の方へ移送を行っている。公的な施設への避難を望まない相談者については、NPO法人等と連携しながら、NPO法人等が所有するシェルターに入所いただいている。そういった状況から、設置等については検討している状況にはない。
③ 福山市として、「男女共同参画の意識づくり」と「DV被害者等の弱者保護」、この2つについて、優先順位をどう考えているか。	③ 優先順位をつけられるものではないが、男女共同参画の社会づくりを特に阻害している要因は、「固定的な性別役割分担意識」、そして「社会的・文化的に作られた男女の役割」である。こういった部分について、様々な啓発を今後も重点的に進めていきたいと考える。